opusdei.org

年間第6週・水曜日 48. 清らかなまなざし で

年間第6週・水曜日48.清らかなまなざしで一視線を見守る。一世の真っただ中で、俗物にならない事。一キリスト信者は、キリストの弟子に相応しくない場所や興行に出入りしない。

2024/04/09

年間第6週・水曜日

- 48. 清らかなまなざしで
- 一視線を見守る。
- 一世の真っただ中で、俗物にならない事。
- ーキリスト信者は、キリストの弟子に相応しくない場所や興行に出入りしない。

48.1 視覚を保護する

イエスは弟子たちと一緒にベトサイイダに来られ、そこに着くとすが連れてこれるように盲人の手をした。主は盲人の手をいて対しました。自に強り、るした。を呼でこれでした。盲人は見した。盲人が見えますが、はました。歩いているのが見えますが、ボスがもう一度両手をそれていました。イエスがもう一度両手をそれていました。イエスがもう一度両手をそれていました。イエスがもう一度両手をそれていませんがいるのが表した。

の目に当てられると、癒され、何で もはっきり見えるようになった¹。

主は通常は瞬時に人々を癒されまし た。けれどもこの場合は、最初、盲 人の信仰が弱く、また、イエスが身 体と霊魂の両方を癒したいとお思い になったので、段階を踏んで行われ ました²。 イエスはその人の信仰を 強めるために、大きな愛をもって手 をとって連れて行き助けられまし た。全く何も見えなかったのが、次 には何かぼんやり見えるようになり ます。しかし、主は創造物の驚異を 認識できるように、くっきりとよく 見える鋭い視力を与えたいとお思い になりました。多分、盲人が最初に はっきり見たのは、情け深く、満足 げに見つめるイエスのみ顔だったで しょう。

具体的にこの盲人に起きたことは、 霊的盲目の本質を考えるのに役立ち ます。私たちは頻繁に、本質的なも

の、すなわち、現世の生活の中に現 存するキリストのみ顔を見ることの できない大勢の霊的盲人に出会いま す。主は盲目であるファリサイ人に 話す時³、また、目はあっても見よ うとしない人々に言及する時⁴、こ の種の盲目についてよくお話しにな りました。良く見えることは神の素 **晴らしい賜物です。何が良いことか** わかること、普通の仕事の中で神を 見ること、仲間を神の子として見る こと、本当に価値のあるものを知る ことは神の素晴らしい賜物です。神 と共に、神をとおして黙想するため であっても、神聖な美しさを、あら ゆる創造の働きの上にそのしるしに 似せて残しました。神が私たちに望 まれるように、愛する心があるな ら、若々しいなら、曇りのない目で 見る必要があります。

多くの人々は全く盲目ではなく信仰 が弱いのです。視力は曖昧で、人生 の地平線上にある素晴らしいものを 殆ど見ることができません。このようなキリスト者は、ご聖体にするをませんにするとができませんできませんできませんできませんができませんができませんができませんができませんができませんができませんができませんがあります。 一つのもはないでではできませんができませんができませんができませんができませんができませんがあります。 一つのののではいるのではいるのではいるのではできません。ででいるのではできません。ででいるのではできませんがあります。

内的生命を持ち始めた霊魂は、心の中にある宝物の真価を見極めて見極めてまる宝魂が神と親しくるると親しまりまる。 のを妨げたり、でもいっているとないよりである。何とないよりでもかりでありたかりである。 を許さないよりではありません。 ではありません。 ではありませんが見ばないものでいることを見なければないました。 でないましたがしたが中でいることを見なければないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものを見ないものとあるとを見ないまい。

こと、心の清さの問題、ごく自然に 潜心して生きることなのです。私た ちの視覚上の警戒は、通りで、いつ もいる環境で、社会的な人間関係の 中で必要になります。そしてこれと 同じ、清く澄んだ目を願うのは、超 自然的な善と真の人間の価値の両方 を見えなくする欲に関してだけでな く、〈目の欲〉に含まれる他の事 柄、例えば衣服を欲しがること、物 を所有すること、ある種の飲み物や 食べ物、などに関しても当てはまり ます。「体のともし火は目である。 目が澄んでいれば、あなたの全身は 明るいが、濁っていれば全身が暗 い。だから、あなたの中にある光が 消えれば、その暗さはどれほどであ ろう|⁵。

ですから、このようなことで細やかさに欠くと、キリストのみ顔をはっきりとではなく、ただ、ぼんやりとかすんだイメージだけで見ることになり、どれほど悲しいことでしょ

う。今日、祈りの中で、どのように 目を守っているかを糾明できます。 私たちが超自然的生活をして神を見 ようとするなら、目を警戒すること は極めて必要なことです。明確な視 覚を持たないなら、曖昧な、時に は、人を惑わす歪められた物のイメ ージだけしか持つことができません から。

48. 2 世俗化しないで世間の只中 にいること

ら、逃げ出すことはできません。私 たちキリスト者は社会の血管への静 脈注射です。 6けれども、世の中に いることは、軽薄で世間的になるこ とではありません。「わたしがお願 いするのは、彼らを世から取り去る ことではなく、悪い者から守ってく ださることです」⁷、イエスは御父 に言われました。私たちは真に祈り の生活をしながら警戒していなけれ ばなりません。小さな犠牲、また は、その機会が訪れ、また神がお望 みなら、大きな犠牲を捧げて、見張 りの兵士が眠気に負けないよう気を つけるのと同じように、私たちは常 に警戒していなければなりません。

使徒たちは信仰を得て改宗した人々に、私たちの時代の環境に近い当時の異教世界の中で、キリストが教えてくださった教理と道徳の教えを、警戒心を持ってしっかり実行するよう戒めています。。 固く決心して戦わないなら、物質主義と悲観主義の

風潮に流されてしまうでしょう。現代の生活スタイルのあまりにも寛容な受け入れと、キリスト教の信仰と自然法に明らかに反する基準を認める傾向が蔓延しています。

新しい異教の宣伝者は、娯楽産業と 効果的に働く仲間を見つけました。 マスメディアに支配される大衆の意 見への影響、それが及ぼすものは莫 大なものです。近年、様々な理由 の、また、はっきりした理由のな い、純潔に反する多くの内的外的な 罪に導く趣味の低下と現世欲を促す メディア産業がどんどん急増してい ます。こうした官能的な状況で生活 する霊魂は、神の傍に従うことが難 しいだけでなく、不可能です。おそ らく遠くからでも従うことはできな いでしょう。このような産業のもと にある、慎みのなさと不潔は、 度々、宗教と神聖なキリスト教信仰 を馬鹿にしようと試みることから生 じるのです。不愉快な冒涜的な言葉

を使うことを何とも思わず、神聖な ものは何でも軽蔑した不敬な態度を 表明して、不信仰と無信仰を故意に 公表します。

教父たちは説教で、初代のキリスト 者を不道徳な娯楽や見世物に出かけ るのを止めさせるために難しい言葉 を使いました⁹。 ですから、当時の 信仰深いキリスト者は、聖性を求め るのに悪影響を及ぼしたり、霊魂を 危険に導いたりする娯楽を楽しむこ となく、どのように過ごすかを知っ ていました。キリストに出会った 時、彼らに要求されている新しい理 想が何であるかはっきりしていたの で、容易く避けることができたので す。キリストに自分の人生を見出し た人の識別力のある良心に明らかに 反したり、そぐわなかったりするこ のような見世物に出かけるのを止め るので、結果として異教徒は、友 人、親戚の者、近所の人々が、キリ

スト教に改宗したことに気づくこと が少なくありませんでした¹⁰。

似たようなことが私たちにも起こる でしょうか? キリスト者に相応しく ない課業や環境に行くのを止めテレイのを か? たとえば、相応しくない若い 者組がある時、子どもたち、おかの信仰と聖なる清らかの 常、しますから離すもものの はますから熱意を失わせなるよりと はないますが を失うことができる、 をいるという。 を もいという。

48.3 キリストの弟子としての立場に相応しくない場所や見世物に行かない

キリスト教精神は変わりません。イエス・キリストは昨日も、今日も、また、永遠に変わることはありません $\frac{1}{1}$ 。 イエスは私たちに同じ忠実、同じ剛毅、最初の弟子たちに求めた

同じ模範を要求します。現在、私たちもまた、風潮に逆らって進まず、 ればならない時があります。まず、 友人が理解しないということがある かもしれません。しかし、これは 度々、神にもっと近づく最初の段階 で起こることで、実際はキリスト教 的生活を意味深く過ごす決心をする ために役立つものです。

神に対して誠実であれば、霊魂に とって危険な機会を避けるでしょ う。ですから、家でテレビを見る前 や見世物に出かける前に、必ず、見 聞きするものが罪の機会にならない ように確かめなければなりません。 心に少しでも疑いがあるなら、その ような娯楽を避けることが私たちに とって唯一の選ぶべき道です。も し、間違って情報を伝えられたため に私たちの倫理的規準に合わない ショーに出かけ、見ることになれ ば、良いキリスト者としてそこを立 ち去ります。「もし、右の目があな

たをつまずかせるなら、えぐり出して捨ててしまいなさい」¹²。大切切なことは、最初から行かないことに、最初から行かないで見られたり者として見られたりはないではないではないではないです。イエス・キリストにそうとです。といことです。 自然な態度です。

真のキリスト者として生きるため に、自分から譲歩しないように、神 に剛毅の徳を願わなければなりませ ん。私たちは人々が言うことを心配 せずに、彼らが理解しようとしない ような時でさえ、他の人々にはっき り言いたいと思います。模範と、信 念と朗らかな態度で私たちが話すこ とによって、人々はもっと健全な教 えに基づいた生活とより良い形成の 必要性を理解し、それらを求めるよ うになるでしょう。誰かがこの種の 娯楽の影響には免疫があると抗議す るなら、私たちは相応しい時期にそ

の人に次のように教えてあげること ができるでしょう。つまり、少しず つ気がつかないうちに、堅い甲羅が 霊魂の周りにできて神との親しさを 邪魔し、真の人間的愛があれば当然 あるはずの人々に対する繊細さと尊 敬がだんだんと持てなくなります よ、と。そのような場所に行くこと や、そうした番組を見ることは、人 に害を及ぼさないと言う人がいれ ば、おそらくその人は、誰よりもそ の事を絶つ必要があるという明らか なしるしです。なぜなら、その人の 霊魂は善に関してすでにかげりがあ り、頑なになっているからです。

キリスト者はこうした娯楽を避ける べきです。悪を支持するようなこと は、ほんのわずかな事でも避けるべ きです。悪を反撃し悪に打ち勝つた めに、できることをすべきです。し かし、健全で清潔な娯楽や健全な呼 び物は仕事の疲れをとるのに役に立 ちますし、他の人たちと知り合いに なったり、知的な教養を楽しく向上 させたりする機会になるので、積極 的にそれらの存在を守るよう貢献す べきでもあります。

¹ マルコ8・22-26 参照

² The Navarre Bible, note to Mark 8:22-26 参照

³ マタイ15・14

- ⁴ マルコ4・12、ヨハネ9・39 参照
- ⁵ マタイ6・22-23
- ⁶ 聖ホセマリア・エスクリバー 手紙 1934年3月19日
- ⁷ ヨハネ17・15
- 8 ローマ13・12-14 参照
- ⁹ 聖ヨハネ・クリゾストモ, Homilies on St Mathew's Gospel 参 照
- Tertullian, On Entertainment, 2
- 4 参照
- __ ヘブライ13・8 参照
- ¹² マタイ5・29

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-VI-sui/ (2025/11/22)